

同校によると、本県から世界陸上に派遣される役員

佐川教育長を訪ねた渡部さん。「正確に業務を遂行したい」と話す

8月26日には喜多方市役所を訪れ、佐川正人教育長

表彰式を行った。最優秀賞

表彰を受けた（左から）八代さん、本多さん、石川さん

高田さん「物理で世界へ」

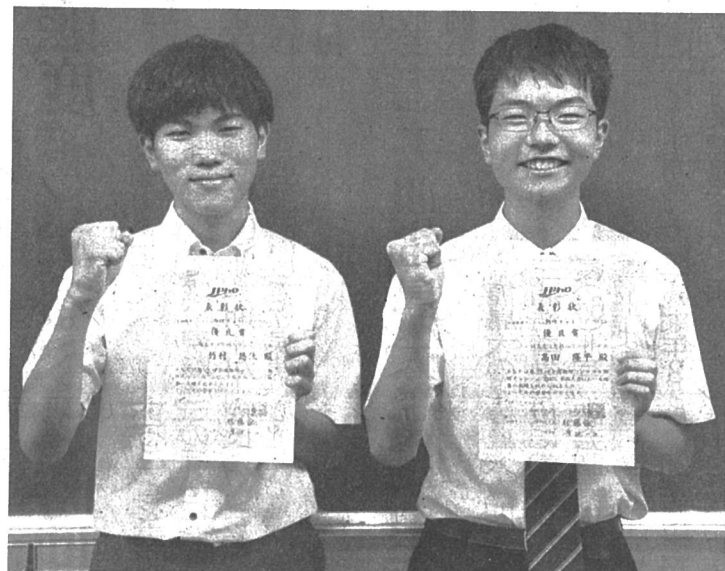
安積高2人全国入賞

第21回全国物理コンテスト物理チャレンジで、安積高物理部の高田隆平さん（2年）、竹村悠汰さん（3年）が優良賞を受賞した。

全国の「精鋭」が集まる大舞台で日頃の成果を発揮し、見事に入賞をつかんだ。高田さんは県内で唯一、物理オリンピック国際大会の日本代表候補に選出され「日本代表としてメダルを目指したい」と意気込みを語る。

物理チャレンジは物理オリンピック日本委員会主催。中学、高校生らを対象に、物理の魅力を体験してもらうコンテストで、物理オリンピック国際大会の日本代表選手（高校2年以下）の選考も兼ねる。実験課題

竹村さん「昨年の悔しさ報われた」



入賞を喜ぶとともに、一層の活躍を誓う高田さん（右）と竹村さん

や理論問題の第1チャレンジを突破した約100人が8月22～25日に東京理科大学で行われた第2チャレンジに出場、5時間ずつの実験、理論の各問題に挑んだ。

実験は「ほぼ最後まで解けた」が、高校生にとって難解な理論は「あまり自信がなかった」と振り返る。それでも部活の先輩たちの指導や日々取り組んできた実験などの経験を生かし、高校2年以下の上位者による日本代表候補12人に選ばれた。

代表候補者は今月から複数回の合宿や通信での研修に取り組み、この中から来年のアジア物理オリンピック（韓国）、国際オリンピック（コロンビア）の代表選手が選ばれる。全国屈指の進学校から集まる強豪たちとの交流が楽しみという高田さん。「緊張感もあるが、頑張って世界を目指したい」と目を輝かせた。

昨年について第2チャレンジ出場となった竹村さん。理論問題に苦戦し、表彰式で名前が呼ばれ「驚いた」という。昨年は入賞を逃していただけに「悔しさや学んでできたことが報われた」と喜んだ。今回で部活動は引退となったが、「これから物理を学んでいきたい」と話した。

2人を指導してきた千葉淳教諭は「日本の高いレベルで戦ってきたことが誇らしい。（高田さんには）代表合宿で切磋琢磨し、大きく成長してほしい」と期待を込めた。

和歌山から直送!! 紀州南高梅干し 塩分が気になる方にもおすすめです!

たっぷり盛り盛り 1パックなんと! 300g入り

大ト 味あ お味

大好き

低塩仕込みのハチミツ入り。甘口の人気商品

みつ 大ト

ただの訳あり、つぶれ梅とはひう! 日本一の梅場紀州和歌山の育った南高梅をパッケージ通し、大粒で薄皮、な南高梅干しのお

教

郡山 高田隆平さん(2年)、竹村悠汰さん(3年)
安積

物理 全国コンテストで優良賞

高校生らが物理の実力を競う「全国物理コンテスト物理チャレンジ2025」で、郡山市の安積高2年の高田隆平さん(17)と3年の竹村悠汰さん(17)が優良賞を受賞した。高田さんは県内で唯一、物理オリンピック国際大会の日本代表候補に選出された。

物理チャレンジは物理オリンピック日本委員会の主催で、大学などに入学する前の中学、高校生を対象に物理の持つ面白さと楽しさを体験してもらうコンテスト。物理オリンピック国際大会の日本代表候補の選考も兼ねている。

今年は全国から1547人が参加。第1チャレ

特製印が押された御書印帖「東京都杉並区の「今野書店」

書店

書店好きが旅も趣味にしたケースが多い。伴侶を失った悲しみを書店巡礼で癒やしている人もいるそうだ。

本以外の商品でも、飲食などの提供でもなく、店を訪れた証

店、全国に店舗を持つ大型書店、昔ながらの街の書店が混在する。閉店しても一覧から店名を消さないのも特徴で、記録的な価値も高い。(ノンフィクションライター・石橋毅史)



賞状を手に入賞を喜ぶ高田さん(右)と竹村さん

候補に選ばれた。

ンジを突破した約1000人が8月22〜25日に都内で行われた第2チャレンジに臨んだ。電気や光の屈折など物理学の理論問題や実験課題に挑戦。金銀、銅、優良の各賞が贈られ、高校2年生以下の成績上位12人が日本代表候補に選ばれた。5月のアジア物理オリンピック(開催地・韓国)に8人、同7月の国際物理オリンピックコロンビア大会(開催地・コロンビア)に5人。今月から合宿や研修を経て来年3

国際大会代表候補に 高田さん

月に決定する。初の第2チャレンジ出場で候補に選出された高田さんは「部活の先輩たちの指導や支えも大きかった。代表になれるよう研さんに努めたい」と意気込んだ。安積高はSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定され、理数系の指導に力を入れている。第2チャレンジ出場は、本県からは高田さんと竹村さんを含む同高物理部4人のみだった。竹村さんは「昨年に続いて第2チャレンジに出場できた。今年は入賞できてうれしい」と喜びを語った。千葉博顧問は「全国のトップクラスと競い、結果を残せたことが誇らしい。県民の希望の星になれるよう、活躍を期待している」とエールを送った。

老朽化進むインフ

人工衛星×AI

水道管の漏水リ

毎日当たり前のように使っている水道。それを支える日本の水道管の総延長は約74万キロに及ぶが、このうち約18万キロは耐用年数を超えている。水道管の破損による道路の冠水や陥没など深刻な事故の増加も懸念される中、宇宙からの情報と人工知能(AI)という最先端技術を活用した漏水検出技術が開発されている。新技術を活用している水道管の総延長は約74万キロに及ぶが、このうち約18万キロは耐用年数を超えている。水道管の破損による道路の冠水や陥没など深刻な事故の増加も懸念される中、宇宙からの情報と人工知能(AI)という最先端技術を活用した漏水検出技術が開発されている。

